

# 令和2年度 【宝塚市】認知症地域支援推進員活動報告

【宝塚市】の認知症地域支援推進員について

- 1 認知症地域支援推進員：8名
- 2 認知症地域支援推進員の役割
  - 地域にある様々な見守り資源・ネットワークの強化と深化
  - 「宝塚市認知症ケアパス」の見直しを通じた、啓発活動の深化
  - コロナ禍での新しい見守り、地域資源の発掘と開発

報告者氏名：野田 真由美・森川 亜矢子  
清水 ゆり恵・鷺森 美樹  
田村 千絵美・柏木 真央  
藤野 智営子・外堀 佳代

# 【宝塚市】認知症施策全体図

## 1. 認知症への理解を深めるための普及・啓発の推進

- \* 認知症への社会の理解を深めるための取り組み
- \* 認知症サポーターの養成と活動の支援
- \* 学校教育等における認知症の人を含む高齢者への理解の推進

## 3. 若年性認知症施策の強化

- \* 若年性認知症の人の居場所づくり、社会参加等を支援

## 5. 認知症の人を含む高齢者にやさしい地域づくりの推進

- \* 生活の支援
- \* 生活しやすい環境の整備
- \* 安全確保

## 2. 認知症の容態に応じた適時・適切な医療・介護等の提供

- \* 発症予防の推進
- \* 早期診断・早期対応のための体制整備
- \* 認知症の人の生活を支える介護の提供
- \* 医療・介護等の有機的な連携の推進

## 4. 認知症の人の介護者への支援

- \* 認知症の人の介護者の負担軽減

## 6. 認知症の人やその家族の視点の重視

- \* 認知症への社会の理解を深めるための取り組み
- \* 認知症施策の企画・立案や評価への認知症の人やその家族の参画

# 【宝塚市】 R2年度認知症地域支援推進員具体的活動報告 テーマ番号<⑦>医療・介護等の有機的な連携



## 薬剤師会との連携

～情報共有の場を設ける～

きっかけは、  
ある日の会話  
からでした。

薬剤師「お薬飲めてなさそうな人がいるんですが・・・。」

推進員「情報提供ありがとうございます！」

➔ きっと、こんな事例はたくさんあるはず。

薬剤師とのネットワークづくりについて、検討開始。

- 薬剤師の困りごとはどのようなものがあるのか？
- 連携することにより、薬剤師にメリットがあるのか？

\* 薬剤師、地域包括支援センター共にお互いの役割の共通認識が必要では？



「地域ケア会議」で検討してみよう。

- 内容は、
- 地域包括支援センターの役割紹介
  - 服薬確認、残薬で困っていることの共有
  - どのようにフォローすれば良いのか
  - 薬剤師、包括がそれぞれできることは？

目指すのは、情報共有が当たり前になることと、ケアマネ等も含めたネットワークづくり

## ◆ 会議までに行ったこと

● 事前に「地域包括ケアシステムにおいてかかりつけ薬剤師・薬局に期待される役割」（厚生労働省）を読む。（薬剤師も推進員も）

● 薬剤師に事前アンケートを実施

- ・ 聞き取りでの困りごとは？
- ・ 患者の反応に不安を感じる時の対処方法は？
- ・ 「飲めていない」とわかった時のフォロー方法は？
- ・ 「認知症かも」と思う人が、薬を飲んでいるか不安な時、どのように対応しているか？
- ・ 患者さん全般に、処方薬を渡すときに必ず聞き取っていること、工夫していることや注意点は？



## ◆ 開催方法

市内7包括を3つのエリアに分けて、エリアごとにオンラインで開催。

## ◆ 結果、今後について

- ・ 今回は第1回目なので、お互いの顔合わせの意味合いが大きかった。
- ・ 気になる人を共有していこう。
- ・ 各包括がチラシを薬局に持参して、ご挨拶。薬局内に置いてもらうことで、薬剤師にも、お客さんにも連絡先を知ってもらう。
- ・ 各エリアで出た課題について、次回、お互いに取り組んだことを共有し、好事例を蓄積していく。
- ・ 1年後には、ケアマネと合同で会議を実施する。



# 「たからづか地域見守り隊」との連携

現状：たからづか地域見守り隊は、平成23年から、店舗等と、市と宝塚市社会福祉協議会とで見守り協定を結ぶ取り組みを進めているが、推進員自身が見守り隊の仕組みや現状について把握できていない。

➡ 強力な見守りの仕組みにしていきたい！



たからづか地域見守り隊の「目的」

- (1) 安全で安心な楽しいまちをみんなでつくる。
- (2) 地域で困りごとを抱える人を把握して、必要な支援につなげる。

たからづか地域見守り隊の「仕組み」

- ・社協がパンフレットをもとに事業所（商店、銀行など）へ説明を実施。
- ・賛同いただいた事業所へステッカーをお渡しし、掲示してもらう。登録事業所として地域での見守りをスタートしていただく。
- ・「気になる方」がいれば担当の地域包括支援センターへ連絡。



見守り事業所は、約250か所もある！



# ◆ 「たからづか地域見守り隊」について社会福祉協議会の担当者との協議スタート

## 見えてきた課題

- ①実態把握・・・事業所側も見守りで困っていることがあるのでは？包括への連絡に迷いがあるケースもあるのでは？
- ②見守りの質の向上・・・包括への連絡件数、内容は事業所により差が大きい

## 課題について対応策を検討

- ①実態把握→登録事業所へアンケート配布（紙またはWEBで返信依頼）R3年1月発送、2月締め切り、次年度解析予定
- ②見守りの質の向上→アンケート結果踏まえて次年度検討予定

# ケアパスの見直し

令和元年度

包括職員、居宅CMにアンケート実施、ケアパスが活用されていない実態が見えた。

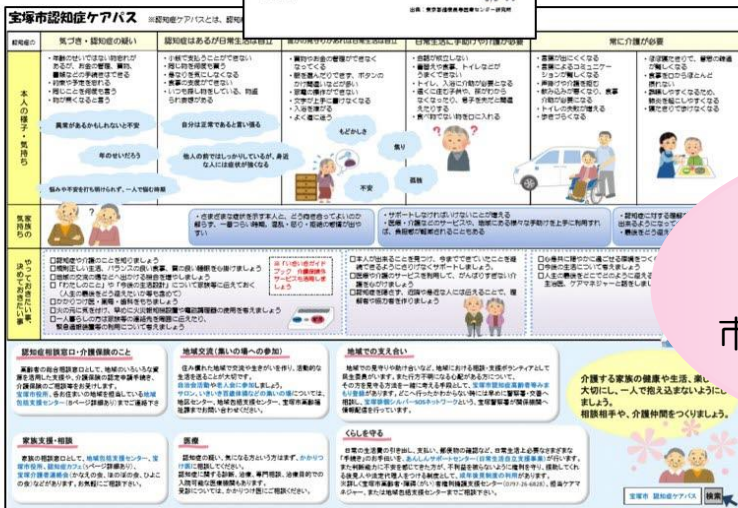
➔ 専門職向けケアパス完成

令和2年度

当事者や家族に手にして欲しい  
市民向けのケアパスを作ろう！！

それなら...

認知症の情報をまとめた  
冊子を作ろう！！



市民への周知は、令和3年度の取り組み課題としています。

認知症ここからガイドブック  
ケアパスを含めた認知症の情報を  
一冊にまとめ、見やすく、  
市民が手に取るということを意識し、  
わかりやすい冊子になるように  
心がけました！

## ステップアップサポーターの活動推進

年に2回程度の交流会、勉強会の開催が定例でしたが、令和2年度には実施できませんでした。

それでも、ステップアップサポーターが中心となり、新しい「オレンジカフェ」がスタートし、スタッフとして活動してくれる人がいて、小さいけれども強い“つながりの輪”が生まれました。

最後に…

\*人とふれあいながらの活動が制限された1年でしたが、そんな時こそ、情報収集、実態把握、課題把握、解決策の検討と、いろいろな前進もありました。

\*これまでの地道な活動が、新たな取り組みへとつながっていくことを、改めて実感することができた1年でもありました。今後も、地域のいろいろな人とつながり、地域のいろいろな人に情報を発信していくことを、みんなで前向きに取り組んでいきたいと思います。

